

QRDM 研究室アカウント管理者用マニュアル

2025/ 10 / 15 1.1版

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援部門

目 次

| | |
|----------------------------------|---|
| I. 申請について | 3 |
| II. アカウントの管理について | 3 |
| III. Nextcloud へのログイン動作 | 4 |
| IV. 研究室アカウントのログインパスワードの変更 | 4 |
| V. アプリパスワードの設定 | 7 |
| VI. GakuNin RDM から QRDM を接続しての利用 | 9 |

I. 申請について

- 申請者は九州大学教員(SSO-KIDを有する者)とします。
- 研究室アカウント利用申請は、基本的には研究室や研究グループ、あるいはセンター、大講座などの組織単位とします。必要に応じて複数申請することも可能とします。
- 研究室アカウントで使用できるストレージサイズは、当面の間制限しません。申請時に実際に使用予定の容量を記入してください。容量の追加申請も可能です。
- RDS 部門からアカウントに対して、パスワードを提供するようになりますが、研究室アカウント管理者は、パスワードを他のメンバに共有してはならず、責任もって管理してください。
- 新規の申請は随時受け付けます。利用期限はその年度末までです。次年度も継続して利用する場合は3月中に継続申請をするようにしてください。
- 研究室アカウントフォルダ利用を廃止するときは、申請内容の廃止を選択し、申請をお願いします。廃止決定後、半年を目処にフォルダを削除します。

II. 研究室アカウントの管理・利用法について

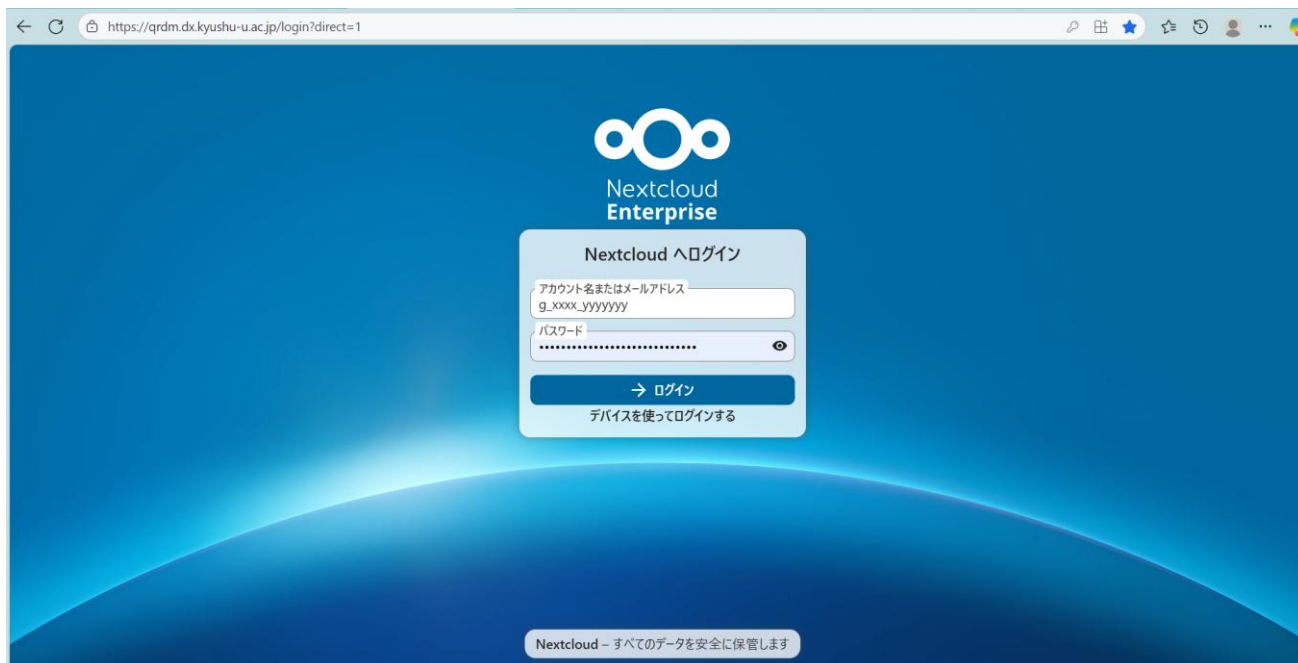
- 通常、研究室アカウントで直接 QRDM にログインして、ファイルの作成／編集等を行うことは避けてください。
- 研究室アカウント管理者は、構成員それぞれに研究室アカウントを利用するためのアプリパスワードを発行してください。アプリパスワードはそのメンバとのみ共有してください。
- 学内からは、デスクトップクライアントを利用してアプリパスワードでログインして、研究室アカウントを利用してください。
- NII 提供の GakuNin RDM(以降 GRDM)を利用して研究室フォルダを利用することも可能です。研究室アカウント管理者が、GRDM 上でプロジェクト設定と、QRDM 接続を行うことで、プロジェクトメンバの共有者が研究室フォルダにアクセス可能となり利用できます(学外からのアクセスは、GRDM 経由のアクセスのみとなります)。
詳細は、[GakuNin RDM から QRDM への接続方法](#) で確認してください。
- 研究室アカウント管理者は、メンバが異動または修了により在籍を終了した場合には、不在になった者のアプリパスワードを削除してください。
- 研究室アカウントの管理者が変わる場合は、Forms による継続申請で新管理者を記入してください。

III. Nextcloud へのログイン操作

QRDM の直接ログインページ(通常の QRDM ログイン URL と異なります):

<https://qrdm.dx.kyushu-u.ac.jp/login?direct=1>

より、RDS 部門より提供されたアカウント・パスワードを利用してログインします。



IV. 研究室アカウントのログインパスワードの変更

ログイン後、ユーザーアイコンをクリックし、「設定」を選択します。



左の選択欄より「セキュリティ」を選択する。そうすると、パスワードについて「現在のパスワード」と「新しいパスワード」欄があります。



「現在のパスワード」欄に RDS 部門より proself で送付したパスワードを転記

「新しいパスワード」欄に貴グループのパスワードを記載

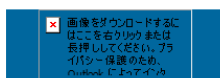
記載後、パスワード変更場単をクリックする

※パスワードポリシーとして、遵守願います。

- ・最低 12 文字
- ・「大文字と小文字の英文字を必ず含む」
- ・「数字を必ず含む」
- ・「記号を必ず含む」

九州大学のパスワードガイドラインは、[こちら](#)(但し、パスワード文字列は 12 文字以上)

パスワードの変更が正常に完了したら、以下のようなメールが、Nextcloud より送付されます。



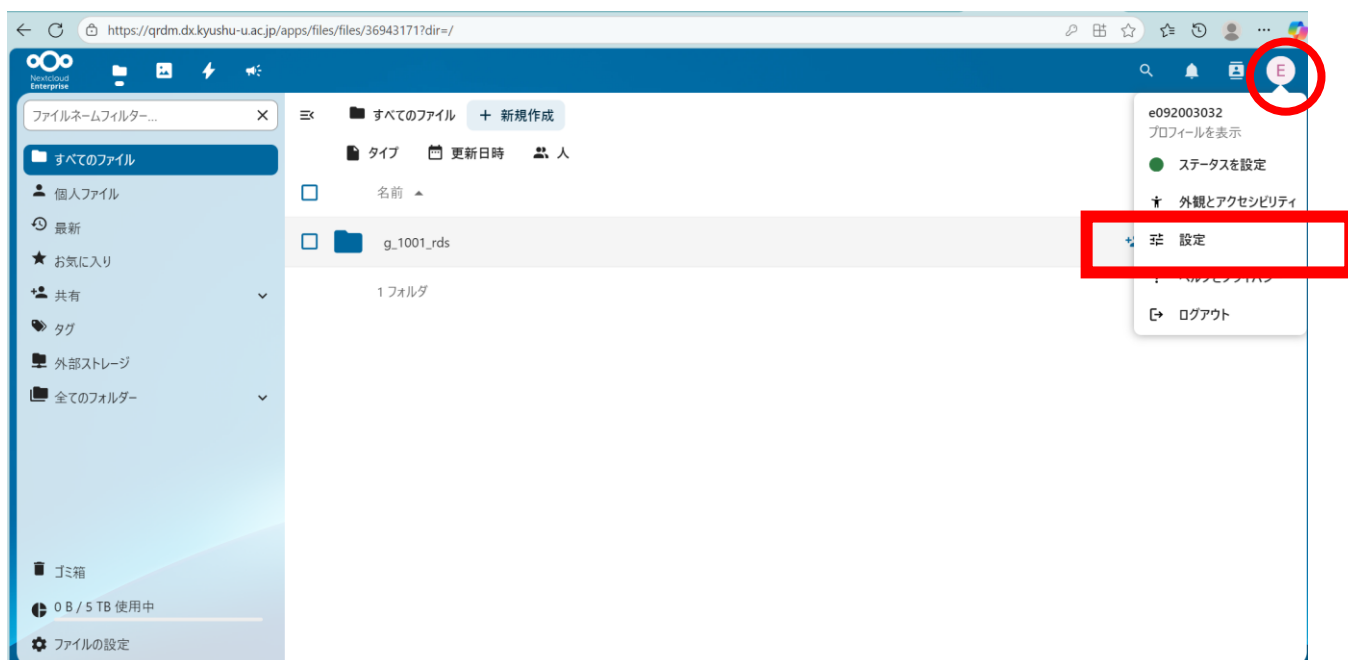
g_dx_rds_20251010 のパスワードが変更されました

<https://qrdm-test.dx.kyushu-u.ac.jp/> のパスワードを変更しました。この操作に覚えがない場合は、管理者にお問い合わせください。

Nextcloud - すべてのデータを安全に保管します
これは自動的に生成されたメールです。返信しないでください。

V. アプリパスワードの設定

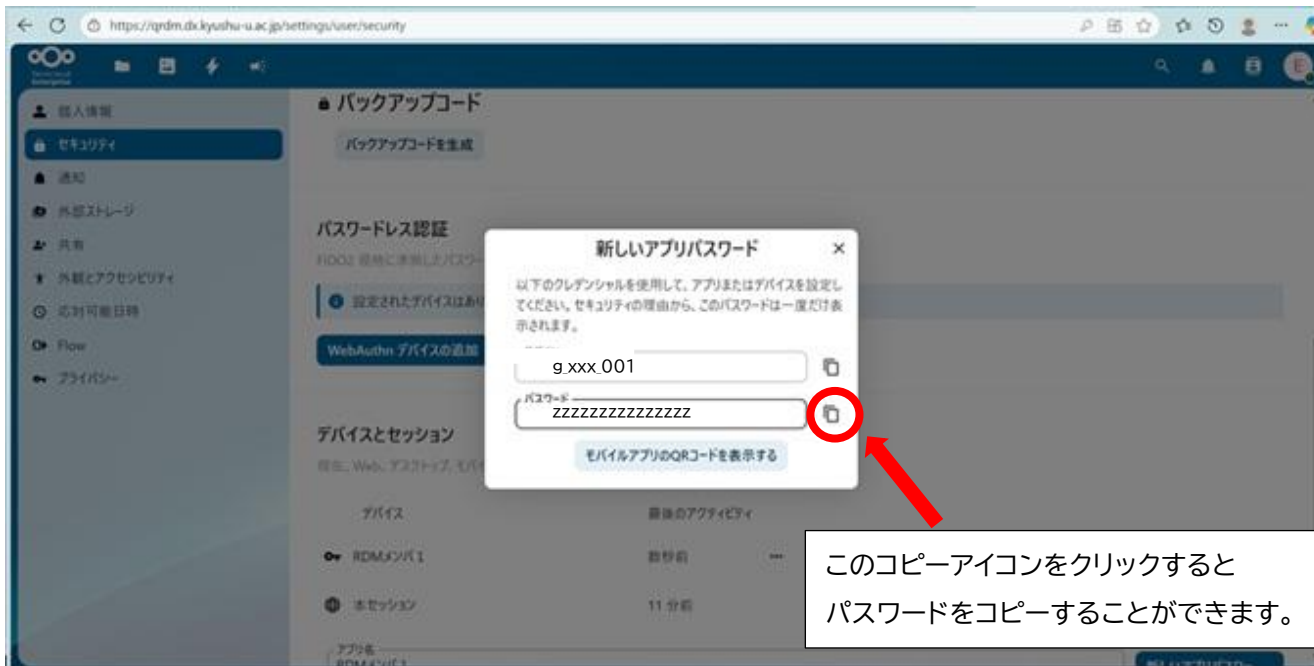
デスクトップクライアントのログイン時に使用するアプリパスワードを設定します。右上のユーザーアイコンをクリックして「設定」を選択してください。



セキュリティを選択し、最下段のアプリ名の部分に、任意のアプリ名(例:メンバ氏名等)入力し、「新しいアプリパスワード作成」をクリックしてアプリパスワードを作成します。ここでは例として「RDS メンバ1」と入力し、アプリパスワードを作成します。



アプリ名を入力し、「新しいアプリパスワードを作成」をクリックしてアプリパスワードを作成します。



ここで表示されるユーザ ID およびパスワードは一度しか表示されないため、メモしておいてください。ユーザ ID およびパスワードは厳重に管理してください。
このアプリパスワードをメンバ人数分作成してください。
これで QRDM 側の準備は完了です。

Point

Q: アプリパスワードとは？

A: 通常、QRDM は SSO-KID でログインして利用しますが、それとは別のアクセス手段を提供するものです。研究室アカウントフォルダにメンバがアクセスするためにデスクトップクライアントアプリから QRDM に接続するために利用します。なお、アプリパスワードを利用することにより QRDM における自身の全てのフォルダおよびファイルにアクセスできるようになるため厳重な管理を行ってください。

Q: アプリ名は何でもよいのでしょうか？ 同じアプリ名を何回も使えるのでしょうか？

A: アプリ名は何でも構いませんが、分かりやすい名前を付けてください。同じアプリ名を何回でも使えますが、削除する際に区別が難しくなる可能性があります。

Q: アプリパスワードのユーザーID とパスワードは、メンバが知っておく必要がありますか？

A: QRDM の研究室アカウントにアクセスするために必要なものなので、メンバ個別に開示し、メンバは、他のメンバ含め他の者に開示しないよう厳重に管理してください。

VI. GakuNin RDM から QRDM を接続しての利用

研究室アカウント管理者(教員)が、GakuNin RDM でプロジェクト作成し、QRDM 研究室アカウントフォルダを外部ストレージに設定。プロジェクトへ学生等をメンバとして参加させ、共有することで、メンバの権限設定で管理も容易となります。

- 研究室アカウント管理者は、[GakuNin RDM から QRDM への接続方法](#)を参照し、以下のような手順で設定してください。
 - ① プロジェクトを作成
 - ② プロジェクトのアドオン設定
アドオン設定より、Nextcloud を有効にして、QRDM の研究室アカウントフォルダを選択し、有効にします。
 - ③ メンバの追加
研究室アカウントフォルダにアクセス可能な学生等を GakuNin RDM のメンバとして設定します。
 - ④ メンバの権限設定
操作権限には、「管理者」「読み込み／書き込み」「読み込み」の 3 種があります。メンバ毎に操作権限を設定します。